

# OTC医薬品 品揃えチェックリスト

※要指導医薬品・一般用医薬品を、要指導医薬品、第1類医薬品、第2、3類医薬品に区分し、品揃え用の製剤区分を本協会で作成し、40薬効群、196製剤区分に分類した。

※それぞれの必須製剤区分数、選択製剤区分数を次の通りとした。

- ・要指導医薬品＝必須6製剤区分、選択7製剤区分
  - ・第1類医薬品＝必須12製剤区分、選択5製剤区分
  - ・第2類・第3類医薬品＝必須93製剤区分、選択73製剤区分
- 合計：必須111製剤区分、選択85製剤区分

※なおメーカーにより同一成分で1回または1日服用量が異なるもの、また同一成分で剤型等が異なるもの、および用量が異なるものは、基本的に成分を優先し「1」として数えた。

※同一成分で小児用薬は可能な範囲で区分した。

※本リストは、必須リストの作成を主眼としたため、主に一般的に品揃えされる製剤を区分した。そのため一般用医薬品として承認されている漢方処方、生薬単味剤、その他製剤を、全て網羅しているものではない。

必須：必ず取り扱う医薬品  
 選択：企業判断で取扱う医薬品  
 網かけ欄：該当する医薬品がない

薬効群	品揃え製剤区分	要指導医薬品		第1類		第2類・第3類	
		必須	選択	必須	選択	必須	選択
①解熱鎮痛薬	・アルミノプロフェン	○	—				
	・イブプロフェン単味製剤 1日量中(0.6g以上含有するものに限る)			○	—		
	・イブプロフェン単味製剤 (剤形の使い分けも検討)					○	—
	・ロキソプロフェン単味製剤			○	—		
	・アセトアミノフェン単味製剤					○	—
	・アスピリン単味製剤					—	○
	・小児向け鎮痛単味製剤 アセトアミノフェン					○	—
	・鎮痛成分とカフェイン配合剤 (催眠鎮静成分含まず)解熱鎮痛成分、 アセトアミノフェンの製剤					○	—
	・鎮痛成分とカフェイン配合剤 (催眠鎮静成分含まず) 解熱鎮痛成分、イブプロフェンの製剤					○	—
	・鎮痛成分とカフェイン配合剤 (催眠鎮静成分含まず) イソプロピルアンチピリンなど、 解熱鎮痛成分が異なる製剤					—	○
	・鎮痛成分、カフェイン (催眠鎮静成分配合) 解熱鎮痛成分、イブプロフェンの製剤					○	—
	・鎮痛成分、カフェイン、 (催眠鎮静成分配合) 解熱鎮痛成分と胃粘膜保護成分 配合製剤					○	—
	・鎮痛成分、カフェイン、 (催眠鎮静成分配合) 解熱鎮痛成分、配合。痛みどめの 種類が異なる製剤。					—	○
	・鎮痛成分、カフェイン、 (催眠鎮静成分配合) 解熱鎮痛成分、配合痛みどめと 胃粘膜保護成分配合の製剤					—	○
	・坐薬						○
・漢方 芍薬甘草湯						○	—
・生薬成分 地竜						—	○

②かぜ薬	・解熱鎮痛成分がイブプロフェン製剤					○	—
	・解熱鎮痛成分アセトアミノフェン製剤					○	—
	・のどや咳の症状への対応を強化した製剤					—	○
	・鼻水の症状への対応を強化した製剤					—	○
	・小児向け製剤					○	—
	・漢方薬 葛根湯					○	—
	・漢方薬 麻黄湯					—	○
	・漢方薬 桂枝湯					—	○
③鼻炎薬	・第一世代 抗ヒスタミン薬と プソイドエフェドリンを含む製剤					○	—
	・第一世代 抗ヒスタミン薬と プソイドエフェドリンを含む製剤、 服用回数がことなる製剤を選択					—	○
	・第一世代 抗ヒスタミン薬で 交感神経刺激薬を含まない					—	○
	・第一世代 抗ヒスタミン薬で プソイドエフェドリンを 含まないもの。					○	—
	・第一世代 抗ヒスタミン薬で プソイドエフェドリンを 含まないもの。 服用回数が異なるもの。					—	○
	・第二世代 抗ヒスタミン薬 エピナスチン塩酸塩			○	—		
	・第二世代 抗ヒスタミン エバスチン	○	—				
	・第二世代 抗ヒスタミン フェキソフェナジン塩酸塩			○	—		
	・第二世代 抗ヒスタミン薬 ケトチフェンフマル酸塩					○	—
	・第二世代 抗ヒスタミン薬製剤 セチリジン	—	○				
	アゼラスチン塩酸塩					—	○
	・第二世代 抗ヒスタミン薬製剤 メキタジン					—	○
	・第二世代 抗ヒスタミン薬製剤 ペミロラストカリウム					—	○
	・小児向け製剤 基本は一日3回のもので シロップとカプセル					○	—
	・小児向け製剤 服用回数や剤形が異なるもの					—	○
	・漢方製剤 小青竜湯					○	—
・漢方製剤 葛根湯加川芎辛夷					—	○	
④鼻炎用点鼻薬	・第一世代抗ヒスタミン剤と 交感神経刺激成分					○	—
	・抗アレルギー剤と 交感神経刺激成分					○	—
	・交感神経刺激成分無配合					○	—
	・ステロイド剤 ベクロメタゾンプロピオン酸塩			○	—		
⑤鎮咳去痰薬	・麻薬性鎮咳去痰薬配合製剤					○	—
	・非麻薬性鎮咳去痰薬配合製剤					—	○
	・去痰薬が主体の製剤や漢方製剤					○	—
	・小児に適応がある製剤					○	—
	・漢方薬 半夏厚朴湯 麦門冬湯					—	○
⑥トローチ・ドロップ	・殺菌消毒・去痰、鎮咳や 交感神経刺激成分配合製剤					○	—
	・小児向け製剤					○	—
	・味や剤形による使い分けも 可能とする製剤					—	○

⑦うがい薬	・殺菌成分配合製剤(殺菌成分の違いにより使い分けられるように)					—	○
	・抗炎症成分配合製剤					—	○
⑧口腔内用薬(外用)	・抗炎症成分主体製剤					○	—
	・殺菌成分主体製剤					○	—
	・虫歯予防洗口剤 フッ化ナトリウム	○	—				
⑨眠気防止薬	・カフェイン配合量の異なるもの					—	○
⑩睡眠改善薬	・抗ヒスタミン製剤					○	—
⑪催眠鎮静薬	・生薬系催眠鎮静薬					○	—
	・漢方製剤					—	○
	・小児鎮静薬					○	—
⑫胃腸薬	・胃酸分泌抑制 ファモチジン			○	—		
	・胃酸分泌抑制 ニザチジン			—	○		
	・鎮痛・鎮痙					○	—
	・漢方製剤 合方剤(大正漢方胃腸薬など)					○	—
	・漢方製剤 漢方処方(安中散など)					—	○
	・局所麻酔(鎮痛)					—	○
	・粘膜修復剤					—	○
	・総合胃腸薬 制酸・鎮痙・健胃・消炎・粘膜修復 など					○	—
	・液体					—	○
⑬乗り物酔い予防薬 (鎮暈薬)	・小児適応がある胃腸薬					○	—
	・成人向け製剤					○	—
	・成人向け製剤 剤形による使い分けができる					—	○
	・小児向け製剤 剤形による使い分けができる					○	—
⑭整腸薬	・整腸薬					○	—
	・トリメプテンマレイン酸塩 (過敏性腸症候群治療薬)	—	○				
⑮止瀉薬	・ロペラミド塩酸塩配合製剤					○	—
	・抗コリン成分配合					○	—
	・抗コリン成分非配合					○	—
	・小児向け製剤					○	—
⑯瀉下薬	・大腸刺激性成分配合製剤 (センナ非配合)					○	—
	・大腸刺激性成分配合製剤 (センナ配合)					—	○
	・膨潤性下剤とセンナ配合					○	—
	・塩類下剤					—	○
⑰浣腸薬	・坐薬					—	○
	・グリセリン含有量やノズルの長さの違いによる使い分け。 寝たきりなど介護を受けている人にはノズルが長いほうがよい。					○	—
⑱駆虫薬	・回虫駆除薬(すべてのドラッグストアにある必要はないが、一定の地域の中にあることが必要)					—	○
	・蟯虫駆除薬(すべてのドラッグストアにある必要はないが、一定の地域の中にあることが必要)					—	○
⑲ビタミン剤	・ビタミンAD主薬製剤					—	○
	・ビタミンE主薬製剤					○	—
	・ビタミンB1主薬製剤					○	—
	・ビタミンB2主薬製剤					○	—
	・ビタミンB2B6主薬製剤					○	—
	・ビタミンEC主薬製剤					○	—
	・ビタミンB1B6B12主薬製剤					○	—

	・ビタミンC主薬製剤						○	—	
	・ビタミン主薬・総合ビタミン製剤						○	—	
⑳ビタミンや生薬配合製剤	・その他の滋養強壮薬						○	—	
㉑ドリンク剤	・ビタミン主薬のドリンク剤						○	—	
	・ビタミンに生薬成分配合ドリンク剤						—	○	
㉒女性・泌尿器用薬	・肝斑治療薬 トラネキサム酸			—			○		
	・女性用保健薬						○	—	
	・女性用保健薬 生薬成分 サフランなど						—	○	
	・漢方製剤 桂枝茯苓丸						—	○	
	・漢方製剤 加味逍遙散						—	○	
	・漢方製剤 当帰芍薬散						—	○	
	・頻尿治療薬 漢方製剤 猪苓湯							—	○
	・頻尿治療薬 漢方製剤 牛車腎気丸							—	○
	・頻尿治療薬 フラボキサート塩酸塩配合製剤							○	—
	・再発膣カンジダ治療薬 クロトリマゾール				—			○	
	・再発膣カンジダ治療薬 オキシコナゾール				—			○	
	・再発膣カンジダ治療薬 イソコナゾール				○	—			
	・再発膣カンジダ治療薬 ミコナゾール				○	—			
	・下肢のむくみ改善薬 赤ブドウ葉乾燥エキス	—	○						
	・月経前緊張改善薬 チェストベリー乾燥エキス	○	—						
・女性ホルモン製剤	—	○							
㉓循環器官用薬	・高コレステロール改善薬						—	○	
	・強心薬						—	○	
	・中性脂肪 イコサペント酸エチル	—	○						
㉔貧血用薬	・鉄剤						○	—	
㉕点眼薬	・一般用点眼薬 ナファゾリン配合薬など						○	—	
	・一般用点眼薬 血管収縮成分や容器のキャップの 開け方などで使い分けられるよう に選択						—	○	
	・涙液タイプ						○	—	
	・抗菌薬配合						○	—	
	・抗菌薬配合 容器や使い捨てタイプなど家族で 使用できるようにするなど選択						—	○	
	・アレルギー用 クロモグリクサンナトリウム						○	—	
	・アレルギー用 アシタノザラスト				○	—			
	・アレルギー用 ケトチフェンフマル酸塩						○	—	
	・アレルギー用 ペミロラストカリウム	○	—						
・アレルギー用 トラニラスト	○	—							
・小児用製剤							○	—	
㉖口内炎用薬	・ステロイド配合						○	—	
	・口内炎用貼付						—	○	
	・口内炎用軟膏 ステロイド配合						—	○	

	・口内炎用軟膏					○	—
⑳口唇ヘルペス治療薬	・アシクロビル			○	—		
	・ビダラビン			○	—		
㉑歯槽膿漏薬	・生薬成分					—	○
㉒外用消炎鎮痛薬	・第一世代の冷湿布 (形、大きさで使い分けができる ような品揃え)					○	—
	・第一世代の温湿布 (形、大きさで使い分けができる ような品揃え)					○	—
	・第二世代 ジクロフェナクナトリウム、冷湿布					○	—
	・第二世代 インドメタシン、冷湿布					○	—
	・第二世代 インドメタシン、温湿布					—	○
	・第二世代 ケトプロフェン					—	○
	・第二世代 ピロキシカム					○	—
	・第二世代 フェルピナク、冷湿布					○	—
	・第二世代 フェルピナク、温湿布					—	○
	・インドメタシン					—	○
	・フェルピナク (冷・温の区分がない製剤)					—	○
	・ジクロフェナクナトリウム (冷・温の区分がない製剤)					—	○
	・噴霧剤					—	○
	㉓みずむし・たむし用薬	・トルナフタート 剤形の選択もできるように					—
・クロトリマゾール 剤形の選択もできるように						○	—
・ラノコナゾール 剤形の選択もできるように						○	—
・ミコナゾール硝酸塩 剤形の選択もできるように						○	—
・エコナゾール硝酸塩 剤形の選択もできるように						—	○
・オキシコナゾール硝酸塩						—	○
・アモロルフィン塩酸塩						—	○
・ブテナフィン塩酸塩 剤形の選択もできるように						○	—
・テルピナフィン塩酸塩 剤形の選択もできるように					○	—	
㉔外用痔疾用薬	・ステロイド含有坐薬					—	○
	・ステロイド含有軟膏					○	—
	・ステロイド非含有坐薬					—	○
	・ステロイド非含有軟膏					○	—
	・ステロイド非含有					—	○
㉕内服用痔疾用薬	・下剤非配合					—	○
	・下剤配合					—	○
㉖毛髪用薬	・ミノキシジル			○	—		
	・カルプロニウム塩化物水和物					—	○
㉗ニコチン製剤	・ニコチンガム 禁煙指導ができる店舗に備える					—	○
	・ニコチンパッチ 禁煙指導ができる店舗に備える			—	○		
㉘勃起障害改善薬	・ヒヨンビン塩酸塩、 硝酸ストリキニーネなど		○				
㉙一般用検査薬	・尿糖・尿たんぱく検査薬					○	—
	・妊娠検査薬					○	—
	・化膿性疾患治療薬 ニキビ治療薬					○	—
	・抗生物質配合					○	—
	・抗生物質、ステロイド配合					—	○

③⑦皮膚外用薬	・かゆみ、虫刺され用薬 ステロイド含有					○	—
	・かゆみ、虫刺され用薬 ステロイド非含有					○	—
	・かゆみ、虫刺され用薬 小児用 ステロイド含有					○	—
	・かゆみ、虫刺され用薬 小児用 非ステロイド含有					○	—
	・かゆみ 乾燥肌用、 尿素配合製剤					○	—
	・かゆみ、乾燥肌用、 ヘパリン類似物質製剤					○	—
	・かゆみ、乾燥肌用、 ビタミン剤配合製剤					○	—
	・紫雲膏					—	○
③⑧消毒用アルコール	・うおの目・たこ					—	○
③⑨殺菌消毒剤	・消毒用アルコール					○	—
④⑩殺虫薬	・ホルマリン		○				
	・シラミの駆除 (すべてのドラッグストアにある 必要はないが、一定の地域の中に あることが必要)					—	○
	・ボウフラ、ハエの防除					—	○
	・ゴキブリ、ハエなどの駆除					○	—
合計	・虫よけ					○	—
		6	7	12	5	93	73